

# チャトゲコナジラミに対する土着天敵を 活用した煎茶園での I P M システム

八女分場

## 1 背景、目的

チャトゲコナジラミは新種の侵入害虫で、福岡県内では平成 21 年 7 月に初確認され、県内茶産地に急速に分布が拡大しています。幼虫による葉の吸汁加害や分泌物によるすす病が樹勢を低下させるほか、成虫の大量飛翔が摘採作業等の著しい障害となっています。

そこで、チャトゲコナジラミの有力な土着天敵であるシルベストリコバチに対する各種薬剤の殺虫活性を明らかにし、殺虫活性の低い薬剤を組み合わせた煎茶園での「シルベストリコバチ温存型」の I P M システムを開発しました。

## 2 成果の内容、特徴

1) この I P M システムは慣行防除体系に比べ、シルベストリコバチのチャトゲコナジラミ幼虫への寄生率を高く維持し、チャトゲコナジラミやすす病の発生を抑制します（表 1、図 1、一部データ略）。

2) 殺ダニ剤や I G R 剤、殺菌剤のシルベストリコバチに対する殺虫活性は低いいため、チャトゲコナジラミの発生を天敵により抑えるためには、シルベストリコバチに影響の少ないこれらの薬剤の組み合わせが有効です（表 2）。

3) シルベストリコバチ成虫に対する各種薬剤の殺虫活性は、福岡県病虫害・雑草防除の手引き（<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d05/tebiki.html>）に掲載しています。

### 3 主要なデータなど

表1 チャトゲコナジラミに対する土着天敵を活用した煎茶園でのIPMシステム

月旬	茶芽の状態	薬 剤
3月中旬	一番茶発芽前	マシン油乳剤 <sup>1) 2)</sup>
4月上旬 ～中旬	一番茶萌芽期	バリアード顆粒水和剤 + スターマイトフロアブル
5月中旬 ～下旬	一番茶摘採後	アプロードエースフロアブル
5月下旬 ～ 6月上旬	二番茶萌芽期	インダーフロアブル + カスケード乳剤
7月下旬	三番茶伸育初期	コルト顆粒水和剤 + コサイド3000水和剤
8月上旬	三番茶伸育期	マシン油乳剤
8月中旬 ～下旬	秋芽伸育初期	オンリーワンフロアブル + マッチ乳剤 + ミルベノック乳剤
9月上旬	秋芽伸育期	コルト顆粒水和剤 + ファルコンフロアブル + インダーフロアブル
10月中旬 ～下旬	秋芽伸育停止期	マシン油乳剤



注) 1. 赤字は非化学合成農薬、ゴシック表示はチャトゲコナジラミ登録薬剤。  
2. マシン油乳剤はチャトゲコナジラミに登録のある薬剤を使用する。

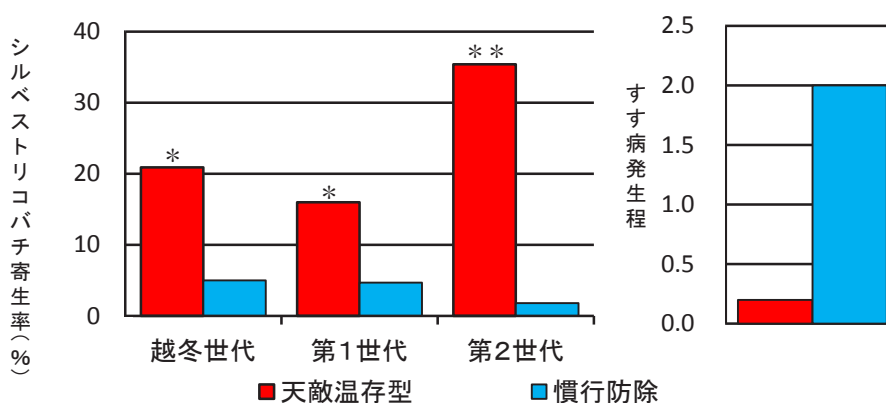


図1 チャトゲコナジラミ幼虫へのシルベストリコバチ寄生率とすす病発生程度

注) \*\*, \*は慣行と比較して1%、5%水準で有意差があることを示す (t 検定)。

表2 シルベストリコバチ成虫に対する殺虫活性の低い薬剤

薬剤 (商品名)	48 時間後 補正死亡率 (%)	薬剤 (商品名)	48 時間後 補正死亡率 (%)
昆虫成長制御剤 (IGR 剤)		殺ダニ剤	
マッチ乳剤	25.0	ダニゲッターフロアブル <sup>2)</sup>	10.5
カスケード乳剤	4.3	ミルベノック乳剤	2.6
ファルコンフロアブル	2.3	スターマイトフロアブル	2.6
IGR 剤 + 殺ダニ剤		殺菌剤	
アプロードエースフロアブル <sup>2)</sup>	0.0	オンリーワンフロアブル	10.3
その他殺虫剤		インダーフロアブル	8.3
トモノールS <sup>2)</sup> (マシン油乳剤)	17.8	ダコニール1000フロアブル	2.7
コルト顆粒水和剤 <sup>2)</sup>	2.6	コサイド3000水和剤	0.0

注) 1. 補正死亡率は Abbott の補正式による。対照区 (蒸留水) の死亡率は 0~5%。

2. チャトゲコナジラミに対して登録のある薬剤 (平成 25 年 9 月現在)。